

経営効率化の取組み状況について 【福利厚生に係る費用の削減】

平成30年2月20日
北陸電力株式会社

当社は、厳しい経営状況を踏まえ、今年4月から一部お客さまの電気料金の改定をさせていただくこととしております。電気料金の改定にあたっては、値上げ幅を可能な限り抑制すべく、聖域を設けず効率化の更なる深掘りを実施することとし、最大限のコスト削減を前提としております。

今般、効率化の取組みのひとつとして、福利厚生に係る費用の削減に向けた施策が決定しましたので、下記の通りお知らせいたします。

当社としましては、引き続き、経営基盤強化委員会をはじめ全社を挙げて最大限の効率化に向けた検討を進めてまいります。

値上げをお願いさせていただくことになるお客さまには、ご負担をおかけすることになり、誠に申し訳ございませんが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 効率化施策（福利厚生に係る費用の削減策）

- ・ 保健館（保養所）の廃止
- ・ 持株助成金の助成率引下げ
- ・ 寮・社宅利用料の引き上げ

2. 実施時期

- ・ 2018年4月から実施

以 上

別 紙：福利厚生に係る費用の削減について（概要）

福利厚生に係る費用の削減について（概要）

■効率化施策および効率化額

施策	効率化額
① 保健館の廃止	約 180 百万円
② 持株助成金の助成率引き下げ	約 40 百万円
③ 寮・社宅利用料の引き上げ	約 80 百万円
計	約 300 百万円

① 保健館の廃止 【保健館の運営費を削減】

- ・廃止を検討してきた当社所有の保健館（3カ所）のうち2カ所（山中保健館：石川県加賀市、勝山保健館：福井県勝山市）を2018年3月末で廃止し、売却する予定。
- ・残る1カ所（福光保健館：富山県南砺市）についても、引き続き売却先を探索していく。

② 持株助成金の助成率引き下げ

- ・従業員の経営への参加意識向上や福利厚生の一環として実施している「従業員持株会制度」の助成率を上場企業平均以下に引き下げ（10%→5%）

③ 寮・社宅利用料の引き上げ

- ・停電事故発生時の迅速な対応（電力の安定供給）を図るために事業所付近に設置している寮及び社宅の利用料を平均で1.5～2倍程度引き上げ

以上